

地域を舞台に体験的で多様な学び ～ボランティア活動～

全国の大学生1万人を対象にした意識調査では、「ボランティア活動に興味を持っている学生は6割を超えるが、実際に参加したのは3割弱」だったという結果が報道されていました。新聞記事では、「ボランティアに関心を示す学生も目立つが、一步を踏み出せないといったケースもある」と分析していました。(読売新聞10月25日)

氷上西高校では、「地域との連携を深め、まちづくり活動や地域の活動に参加することで、体験的・実践的に学び、自己実現とキャリア形成を促し、地域に貢献する高い志を持つ生徒を育成する」ことを学校重点目標の一つにしています。

11月には地域に出ていきボランティア活動を行う機会がたくさんありました。教室の中で行う教科の学習とはまた違った多様な学びの機会となりました。参加した生徒たちは、地域の行事やイベントの中で、大人の方々や小中学生、子どもたちとのふれあい等をおして、やりがいや達成感を得ることができました。

氷上西高の生徒は、全員が1年間で最低1回は何かのボランティア活動に参加します。中には10回以上参加する生徒もいます。ボランティア活動への参加が、生徒の経験値を高めるとともに生徒各自の自信につながります。そして、次の機会にさらに一步前へ踏み出す原動力となっています。

(校長 高橋信之)

